

企画提案書の作成要領

1. 企画提案書等の記載上の留意事項

- 1) 審査は匿名で行うため、企画提案書には、正本を除き社名及び社名を類推されるような情報は記載しないこと。
- 2) 企画提案書は、仕様書の内容を踏まえ、「2. 企画提案書の構成」の番号、項目に基づく章立てとすること。なお、5W1H(When、Where、Who、What、Why、How)を基本とし、具体的に記述すること。
- 3) できるだけ平易な表現で分かりやすく具体的に作成すること。専門用語等を使用する場合は、補足説明文などで理解できるようにすること。
- 4) 仕様書の内容を実現するために必要な事務等で、想定されるもの全てに記載すること。ただし、企画提案書に記載した内容は見積価格で実現できるとみなすため、内訳を記載すること。
- 5) 提案内容はすべて提案限度額内で実現可能なものとし、できる限り具体的であること。なお、業務委託契約後に提案内容が実現できなくなった場合は、提案内容以外の方法で実現することとし、その費用は提案者が負担すること。
- 6) 様式は、任意の様式を使用し、原則として A4 判長辺綴じ、両面カラー印刷とし、文書は、横書きとする。また、A3 判の挿入も可とする。なお、A4 判及び A3 判共に 1 ページ換算とする。
- 7) 企画提案書は、各ページに一連のページ番号を記載すること。また、12 ポイント以上の文字(図や表、補足文等は除く)を使用することを基本とし、読み易さに配慮すること。

2. 企画提案書(様式任意)の構成

番号	項目	記載すべき事項
1	業務に関する実施方針について	本業務実施に関する実施方針について、以下の点について記述すること。 1) 業務を実施するための基本的な考え方について 2) 空家等対策の業務改善や問題解決が図られる取組方針について
2	提案事項	以下の点について実施することを具体的に記述すること。 1)業務に関する具体的な流れと作業内容について ①現地調査から報告書作成までを早く正確に行うための手法等について ②調査結果等を踏まえた対策計画の改定案作成の手法等について 2)統計などの各種データによる現状把握及びその分析、課題整理について ※どのように現状把握及び分析し、課題整理を行うのかを記述すること。 3)所有者等の意向把握等とその分析方法について ※どのように意向把握及び分析を行うのかを記述すること。 4)空家等対策計画の現状の課題と改善案の検討について ※空き家発生前から解消するまでの対策について考え方を記述すること。
3	運営体制	以下の点について実施することを具体的に記述すること。 1) 実施体制(業務ごとの人員配置等)について 2) 実態調査及び対策計画改定の業務工程について 3) 実態調査及び対策計画策定の類似業務の実績について
4	その他	1) 予定金額内訳について 2) 事業の精度を高め、円滑に進めるための独自の提案について